

令和 7 年度

北日本医療福祉専門学校

こどもマイスター養成科シラバス

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
スポーツ（実技）	30 時間	15 コマ	2 単位	1 学年 （通年）	必修
【学修内容】					
1. 生涯にわたって運動やスポーツを自ら実践することができる能力を身に付けることを目的とする。各種目に関する講義も適宜行い、健康と安全に留意しながら個人的・集团的スポーツを楽しむことができる作戦の立て方や審判の、競技運営方法を学ぶ。					
2. スポーツを仲間とともに技能面の上達を図り楽しむことができ、自己の体力・健康の保持・増進を図ることができる。また、ニュースポーツも体験・理解する。					
【到達目標】					
バレーボール・バドミントン・バスケットボール・卓球などを仲間とともに楽しみ、技術的に上達し、ルールを理解し審判ができるようになるとともに試合運営ができるようになる。					
【授業の方法】					
・実技					
【成績評価の方法と基準】					
・単位認定試験により 60%以上の評価を得る事で単位を認定する。					
・演習 50%、実技 50%で評価する。					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・予習復習をしてください。わからないことは自分で調べたり質問したりしてください。					
【使用教材・教具】					
・適宜資料配布					
【履修にあたっての留意点】					
・授業中の私語、スマートフォン等の操作は認めません。					
・怪我のないよう十分注意して取り組みましょう。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
英語コミュニケーション	30 時間	15 コマ	2 単位	1 学年 （通年）	必修
【学修内容】					
平易な英分で書かれた物語や子どもの発達に関する文章を和訳し理解することができる。英語表現の基礎となる文法・構文を用いて英文を作ることや子どもの発達に関する英文の内容を理解することができる。					
【到達目標】					
近頃では幼稚園や保育園に外国人の園児が入園してくることもあり、保育現場で英語を使う機会も増えている。本授業では、英語表現の基本となる文法・構文の復習を行うとともに、保育現場で必要な英語表現を運用できる力を身に付けることを目標とする。					
【授業の方法】					
・講義					
【成績評価の方法と基準】					
・筆記試験およびレポートなどにより 60%以上の評価を得ることで単位を認定する。					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
予習：次回の授業範囲の教科書を読んできてください。					
復習：教科書やノートをもとに授業の内容を整理してください。わからないことは積極的に質問してください。					
【使用教材・教具】					
・『英語コミュニケーション』豊岡短期大学					
【履修にあたっての留意点】					
・授業中の私語、スマートフォン等の操作は認めません。積極的に授業に取り組んでください。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
国語	1 年次 15 時間 2 年次 15 時間	1 年次 8 コマ 2 年次 8 コマ	1 年次 1 単位 2 年次 1 単位	1,2 学年 （通年）	必修
【学修内容】					
国語教育の基本的な内容を理解し、幼児教育における言語指導にかかわる基本的な資質を養う。					
【到達目標】					
絵本、幼児同和に触れる事により子供の成長過程を理解でき、発達段階における適切な作品の選択ができ					

る知識を身に付ける。
【授業の方法】
・講義
【成績評価の方法と基準】
・筆記試験及び講義への参加態度、課題への取り組みの姿勢も含めて総合的に判断する。
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んでください。 復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を理解し、わからないことを調べたり、質問したりしてください。
【使用教材・教具】
・適宜資料配布
【履修にあたっての留意点】
・授業中の私語、スマートフォン等の操作は認めません。積極的に授業に取り組んでください。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
憲法	30時間	15コマ	2単位	1学年 (通年)	必修
【学修内容】					
本講義は、憲法に関する基本的な知識を学修することを目的とするが、特に将来、保育士や幼稚園教諭として、社会福祉・教育の現場に奉職する学生が、理解しておくべき、日本国憲法の理解や理念を「人権」「統治機構」を中心として学修を進めていく。そして日本国憲法が国民に求める価値規範意識を醸成していく。また、身近な生活問題の中から権利擁護や社会参画参加の問題を取り上げ、判例等も検討しながら理解を深めていく。					
【到達目標】					
1. 憲法における「人権」「統治機構」の2つの関連について理解することが出来る。 2. 憲法は国民の人権保障に主眼があり、そのために権力分立を基本とする統治機構が作られている。そして権力分立に基づく統治機構は人権保障に奉仕する。このような構造について理解できる。 3. 憲法学習を通じて、市民としての立場と公的な部門への積極的な参加が意識できるようになる。 4. 保育者、幼稚園教諭として覚えておくべき日本国憲法の知識を習得する。					
【授業の方法】					
・講義					
【成績評価の方法と基準】					
・試験の成績60% レポートの成績30% 講義への意欲・参加態度10%、その他、課題への取り組みの姿勢等も含めて総合的に判断する。					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
予習：第2回以降、講義の最後を示す教科書および福祉小六法の該当箇所を読んでください。(60分程度) 復習：学んだその日のうちに、講義内容に目を通し、疑問点などは調べてみましょう。(60分程度)					
【使用教材・教具】					
・『憲法』豊岡短期大学					
【履修にあたっての留意点】					
・講義中の私語や無許可で席を離れることは認めません。真摯に授業に取り組む姿勢で臨んでください。 ・講義の最後で示す、次回の講義内容を、読み、予習を進めていくことを心がけるようになさってください。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
健康科学	15時間	8コマ	1単位	1学年 (通年)	必修
【学修内容】					
日々健康で勉学や仕事に打ち込むには、心身ともに健康でなければならない。今日、私たちを取り巻く社会や環境、性格の変化は私たちの健康に多大な影響を及ぼしています。本講義では、そのことについて客観的に分析し、科学的な健康づくりを学ぶことにより、自己の健康づくり及び幼児から高齢者までの健康づくりの指導ができるようになることを目的とする。					
【到達目標】					
1. 自己の体力増進や健康管理ができるとともに、指導者として事故や周辺の人への運動処方が考えられるようになる。					

2. 運動の基礎理念および運動処方を知ることにより、健康な生活を送ることができるようになる。
【授業の方法】
・ 演習
【成績評価の方法と基準】
・ 筆記試験及びレポート等により60%以上の評価を得る事で単位を認定する。
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
・ 予習復習をしてください。
【使用教材・教具】
・ 『健康科学』 豊岡短期大学
【履修にあたっての留意点】
・ 授業中の私語、スマートフォン等の操作は認めません。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
情報リテラシーと処理技術	30時間	15コマ	2単位	1 学年 (通年)	必修
【学修内容】 情報システムの発展と役割について理解を深め、これからの情報化社会を生きる上で必要となる基礎知識と技術を身に付ける。テキスト教材を中心に情報システムの発展、コンピュータ（ハードウェア・ソフトウェア）、情報ネットワークなどの仕組みについて理解を深める。また、演習を通じ、パソコンの基本操作、ワープロソフトの基本操作、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトの基本操作を学習する。					
【到達目標】 1. 情報セキュリティインシデントについて理解し適切な対応ができるようになる。 2. 情報通信技術（ハード・ソフト）について理解し効果的に活用できるようになる。 3. ワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトの基本操作ができるようになる。					
【授業の方法】					
・ 講義					
【成績評価の方法と基準】					
・ レポート及び筆記試験 70%、提出課題 20%、受講態度 10%で評価する。またスクーリングについては、単位認定試験により 60%以上の評価を得る事で単位を認定する。					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・ 授業内容を理解するために、次回行われる範囲のテキストを予習し、授業後は復習すること。					
【使用教材・教具】					
・ 『情報リテラシーと処理技術』 豊岡短期大学					
【履修にあたっての留意点】					
・ 授業中の飲食、不必要なスマートフォン等の操作は認めません。私語は原則認めないが、不明な点をお互い確認を取ることは認める。 ・ 提出課題については、実技試験実施までに提出すれば評価する。 ・ この科目は、将来の社会生活だけでなく保護者への情報伝達手段としても必要なスキルとなるので、意識しながら取り組むこと。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
保育原理	30時間	15コマ	2単位	1 学年 (通年)	必修
【学修内容】 保育原理では、子どもをめぐる環境を踏まえながら、「保育とは何か」を広い視野から捉えて保育全般を学ぶ。具体的には、保育の意義と目的、保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における保育の基本について理解し、保育者としての資質の在り方に目を向け、保育におけるさまざまな課題に関しての認識を深める。					
【到達目標】					
・ 保育の基本（意義や目的など）や保育の質を高める方法について理解し、自分の言葉で説明ができる。 ・ 保育所の役割や目的について理解を深め、その歴史や現状を踏まえながら多角的な視野で保育を考え、自分の言葉で説明ができる。					
【授業の方法】					
・ 講義					
【成績評価の方法と基準】					
・ 授業態度・授業出席率15% レポート15% 期末試験70%					

【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・予・復習：随時課題プリントを配布しますので期限内に提出してください。					
【使用教材・教具】					
・『保育原理』豊岡短期大学					
・『保育所保育指針解説』フレーベル館					
【履修にあたっての留意点】					
・授業中の飲食、不必要なスマートフォンの操作は認めません。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
教育原理	30時間	15コマ	2単位	1 学年 (通年)	必修

【学修内容】					
・教育の基本的概念、理念、歴史及び思想について学ぶことにより、どのように教育及び学校が営まれ、変遷してきたかを理解する。 ・現代の学校教育に関する社会的及び制度的な仕組みを学ぶことにより、学校と地域の連携及び学校安全に関する意義や必要性、子ども家庭福祉等とのかかわりについて理解する。 ・設題を理解し、読み手に伝わる文章が作成できる。重要事項を落とさずに自らの考えをまとめることができる。					
【到達目標】					
教育の思想とその作用、また我が国の教育制度・理念・歴史について学ぶことにより、教育の課題と可能性について理解を深めること及び学校教育に関する社会的、制度的事項を理解し、地域との連携並びに学校安全に関する理解を深めることを目標とする。					
【授業の方法】					
・講義					
【成績評価の方法と基準】					
・レポート50% 筆記試験50%					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・予習復習をしましょう。					
【使用教材・教具】					
・『教育原理』豊岡短期大学 ・『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 ・『保育所保育指針解説』フレーベル館 ・『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館 ・配布プリント					
【履修にあたっての留意点】					
・授業中の私語、スマートフォン等の操作は認めません。積極的に授業に取り組んでください。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
こども家庭福祉	30時間	15コマ	2単位	1 学年 (通年)	必修

【学修内容】					
望ましい保育者となるために、こども家庭福祉の領域に関する基本的な知識・技能・人間性として身につけなければならないこと等について学ぶ。					
【到達目標】					
1. 現代社会におけるこども家庭福祉の意義と歴史的変遷について理解する。 2. 子どもの人権擁護について理解する。 3. こども家庭福祉の制度や実施体系等について理解する。 4. こども家庭福祉の現状と課題について理解する。 5. こども家庭福祉の動向と展望について理解する。					
【授業の方法】					
・講義					
【成績評価の方法と基準】					
・筆記試験の成績80%、レポート20%					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んでください。 復習：教科書や配布資料をもとに授業内容を整理し、わからないことを調べたり、質問をしたりしてくだ					

さい。
【使用教材・教具】
・『こども家庭福祉』豊岡短期大学
【履修にあたっての留意点】
・授業中の飲食や私語、不必要なスマートフォン等の操作は認めません。 ・この科目は、他の科目との関連性があります。意識しながら授業に取り組んでください。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
社会福祉論	30時間	15コマ	2単位	1学年 (通年)	必修
【学修内容】					
保育者の視点から、現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷について、学びを深めながら、現代の社会福祉の動向、制度や関係機関の実施体系等についての把握に努める。併せて、社会福祉における相談援助や利用者の保護にかかわる仕組みについて理解していく。					
【到達目標】					
1. 現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷及び社会福祉におけるこども家庭支援の視点について理解する。 2. 社会福祉の制度や実施体系等について理解する。 3. 社会福祉における相談援助について理解する。 4. 社会福祉における利用者の保護にかかわる仕組みについて理解する。 5. 社会福祉の動向と課題について理解する。					
【授業の方法】					
・講義					
【成績評価の方法と基準】					
・筆記試験及びレポート等により60%以上の評価を得る事で単位を認定する。					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・予習復習をしてください。					
【使用教材・教具】					
・『社会福祉論』豊岡短期大学 ・『保育所保育指針解説』フレーベル館 ・『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館					
【履修にあたっての留意点】					
・授業中の飲食や私語、不必要なスマートフォン等の操作は認めません。 ・この科目は、他の科目との関連性があります。意識しながら授業に取り組んでください。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
社会的養護Ⅰ	30時間	15コマ	2単位	1年生 (通年)	必修
【学修内容】					
望ましい保育者となるために、社会的養護に関する基本的な知識、専門性、人間性として身につけなければならないこと等について学ぶ。					
【到達目標】					
・社会的養護の意義と歴史的変遷を理解し、現状と課題について説明できる。 ・各種児童施設における社会的養護の展開について説明できる。					
【授業の方法】					
・講義					
【成績評価の方法と基準】					
・筆記試験及びレポート等により60%以上の評価を得る事で単位を認定する。					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・予習復習を行ってください。					
【使用教材・教具】					
・『社会的養護』豊岡短期大学 ・『保育所保育指針解説』フレーベル館 ・『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館					
【履修にあたっての留意点】					
・授業中の飲食や私語、不必要なスマートフォン等の操作は認めません。					

・この科目は、他の科目との関連性があります。意識しながら授業に取り組んでください。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
保育者論	30時間	15コマ	2単位	2学年 (通年)	必修
【学修内容】					
1. 多様化する保育者の専門性を考え保育者の役割を倫理を基に考える事が出来る。 2. 保育者の倫理について学び、倫理的ジレンマを解決する過程を学ぶ。 3. 保育における職員間の連携・協働、資質向上に関する組織的取組を理解する。					
【到達目標】					
・保育者の専門性を理解し、専門性の発達と今後のキャリア形成を考えることができる。					
【授業の方法】					
・講義					
【成績評価の方法と基準】					
・授業態度・授業出席率10% 課題提出10% レポート10% 期末試験70%					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んできてください。 ・復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、調べたり質問をしてください。					
【使用教材・教具】					
・『新基本保育シリーズ7 保育者論』中央法規出版					
【履修にあたっての留意点】					
・授業中の飲食や私語、不必要なスマートフォン等の操作は認めません。 ・この科目は、他の科目との関連性があります。意識しながら授業に取り組んでください。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
こども家庭支援論	30時間	15コマ	2単位	1学年 (通年)	必修
【学修内容】					
「家庭」という視点から保育者の支援の在り方について明らかにしていく。その中で、家庭生活を取り巻く様々な社会状況についても把握し、問題の所在やその解決法について展開していく。これらによって、社会的課程に関する基本的な知識、家庭支援の専門性等について学んでいく。					
【到達目標】					
保育者として家庭支援の領域に関する基本的な知識・技能・人間性について習得する。					
【授業の方法】					
・講義					
【成績評価の方法と基準】					
・授業態度・授業出席率15% 課題提出15% 期末試験70%					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んできてください。 復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、調べたり、質問したりしてください。					
【使用教材・教具】					
・『新基本保育シリーズ7 子ども家庭支援論』中央法規出版 ・『保育所保育指針解説書』フレーベル館 ・『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館					
【履修にあたっての留意点】					
・授業中の飲食や私語、不必要なスマートフォン等の操作は認めません。 ・この科目は、他の科目との関連性があります。意識しながら授業に取り組んでください。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
教職論	30時間	15コマ	2単位	1学年 (通年)	必修
【学修内容】					
1. 設題を理解し、読み手に伝わる文章が作成できる。重要事項を落とさずに自らの考えをまとめることができる。 2. 教職者に求められる資質能力や教職の在り方など基本的事項について理解している。					
【到達目標】					

教職（保育）は子どもの成長発達に指導・援助する仕事である。そのため子どもの学ぶ意欲を高め、知的好奇心を醸成し、人間関係を豊かにする授業を創り出すことが教職論の重要な目標である。教職者は保育への課題に関心を持ち、授業に関わる専門性について学ぶとともに、あるべき保育教育のビジョンを明確にすることを主要なテーマにし、自分が目指す教職者像の確立を図る。
【授業の方法】
・講義
【成績評価の方法と基準】
・レポート50% 筆記試験50%
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
・教職者に求められる資質能力や教職のあり方について、基本事項についての復習をしましょう。
【使用教材・教具】
『教職論』豊岡短期大学 『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 『保育所保育指針解説』フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館 - 配布プリント
【履修にあたっての留意点】
・授業中の私語、スマートフォン等の操作は認めません。積極的に授業に取り組んでください。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
保育の心理学	30時間	15コマ	2単位	1学年 (通年)	必修
【学修内容】					
発達心理学の定義及び発達心理学にかかわる基本的な用語の解説、及び生涯にわたる発達についての概要を示す。特に乳幼児期については、発達の知見に加え、学習の意義や実践的な保育への活用法について併せて検討する。					
【到達目標】					
1. 保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について理解する。 2. 子どもの発達にかかわる心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解を深める。 3. 乳幼児期の子どもの学びの過程や特性について基礎的な知識を習得し、保育における人との相互的関わりや体験、環境の意義を理解する。					
【授業の方法】					
・講義					
【成績評価の方法と基準】					
・期末試験の成績 50% レポート 50%					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んでください。 復習：教科書や配布資料をもとに授業内容を整理し、わからないことを調べたり、質問をしてください。					
【使用教材・教具】					
『発達心理学』豊岡短期大学 『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 『保育所保育指針解説』フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館					
【履修にあたっての留意点】					
・授業中の飲食や私語、不必要なスマートフォン等の操作は認めません。 ・この科目は、他の科目との関連性があります。意識しながら授業に取り組んでください。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
こども家庭支援の心理学	30時間	15コマ	2単位	1学年 (通年)	必修
【学修内容】					
生涯発達の観点から発達のプロセスや初期発達の重要性について理解し、保育との関連性について考え、子どもの発達段階ごとの特徴と重視すべき課題について理解する。子育て家庭に関する現状と課題を把握し、子育てを取り巻く社会的状況と課題について理解する。					

【到達目標】
1. 乳幼児期から老年期における発達について理解する。 2. 家族・家庭の意義とその機能について理解する。 3. 子育て家庭に関する現状と課題について理解する。 4. 子育てを取り巻く社会的状況と課題について理解する。 5. 子どもの精神保健とその課題について理解する。 6. 子育て家庭を取り巻く社会的状況と課題について習得する。 7. 生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得する。
【授業の方法】
・講義
【成績評価の方法と基準】
・筆記試験及び講義への参加態度、課題への取り組みの姿勢も含めて総合的に判断する。
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んでください。 復習：教科書や配布資料をもとに授業内容を整理し、わからないことを調べたり、質問をしてください。
【使用教材・教具】
・『こどもの発達と家庭支援』豊岡短期大学 ・『保育所保育指針解説』フレーベル館
【履修にあたっての留意点】
・授業中の飲食や私語、不必要なスマートフォン等の操作は認めません。 ・この科目は、他の科目との関連性があります。意識しながら授業に取り組んでください。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
こどもの保健	30時間	15コマ	2単位	2学年 (通年)	必修

【学修内容】
① 小児保健の意義を理解し、それぞれの発達段階における身体的、生理的、社会性も踏まえた精神機能の発達について学ぶ。 ② 発達段階における子どもの病気の特徴や予防について学び、健康状態の把握の方法、他の関係機関との連携の在り方を学び適切な対応について理解する。 ③ 子どもの保健衛生活動に関連する機関・施設の役割について理解する。
【到達目標】
設題についてポイントを押さえて学習し小児保健の意義が理解でき、保育実践に活かせる。子どもの心身の健康増進を図る保健活動について理解し、現代社会における子どもの健康に関する現状や課題について理解する。
【授業の方法】
・講義
【成績評価の方法と基準】
・筆記試験80%、受講態度及び課題20%を総合的に評価する。
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
・予習復習を行ってください。
【使用教材・教具】
・『こどもの保健』豊岡短期大学
【履修にあたっての留意点】
・子どもの成長発達に興味を持ち学習をしましょう。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
こどもの理解と援助	30時間	15コマ	2単位	1学年 (通年)	必修

【学修内容】
幼児期までの発達の特徴や基礎的な学習理論、欲求を満たせない状況における防衛制御、教育場面における評価について学ぶ。
【到達目標】
1. 保育実践において、実態に応じた子ども一人一人の心身の発達や学びを把握することの意義について理解する。 2. 子どもの体験や学びの過程において、子どもを理解する上での基本的な考え方を理解する。

3. 子どもを理解するための具体的な方法を理解する。
4. 子どもの理解に基づく保育士の援助や態度の基本について理解する。
【授業の方法】
・講義
【成績評価の方法と基準】
・筆記試験及びレポート等により60%以上の評価を得る事で単位を認定する。
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
・予習復習を行ってください。
【使用教材・教具】
・『教育心理学』豊岡短期大学 ・『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 ・『保育所保育指針解説』フレーベル館 ・『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館
【履修にあたっての留意点】
・授業中の飲食や私語、不必要なスマートフォン等の操作は認めません。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
こどもの食と栄養	30時間	15コマ	2単位	2学年 (通年)	必修選択
【学修内容】					
1. レポート課題・単位認定試験出題課題を中心に、テキスト・参考図書だけではなくより広い視点からこどもの食と栄養について深く理解する。					
2. スクーリングを通して学習成果に対する学習の理解を深め、実践力をつける。					
3. 普段からあらゆる視点でこどもの食と栄養について興味関心を持ち、質問用紙等を活用して向上心を持って高い資質を身につける。					
【到達目標】					
1. 栄養に関する基本理念と栄養素の役割・働きを理解する。					
2. 幼児期の心身の発達を理解し、心身が健全に育成されるための対応を身に付ける。					
3. こどもを取り巻く現代社会環境を理解し、健全にこどもを育むための環境の整え方を理解する。					
【授業の方法】					
・講義					
【成績評価の方法と基準】					
・レポート、中間テスト、科目試験 80～90%、出席、講義、課題の取り組み態度 10～20%で評価する。					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・子供の成長発達と関連付けて学習しましょう。					
【使用教材・教具】					
・『こどもの食と栄養』豊岡短期大学					
【履修にあたっての留意点】					
・食は成長発達において大切な要素です。成長発達のために必要な食事を知ることによって終わらず、指導できる人材となるよう学習をしましょう。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
言葉とこどもの文化	15時間	8コマ	1単位	1学年 (通年)	必修
【学修内容】					
言葉の機能を理解し、絵本・紙芝居・おはなし等、こどもが言葉を育むことに役立つ言語教材である児童文化財への専門的知識を深めると同時に、児童文化財の研究を通して、その利用の仕方について理解する。さらに学童期へ繋がる言葉について理解を深める。					
【到達目標】					
1. 児童文化財がこどものことばの習得にどのように役立つか理解する。					
2. 児童文化財の利用の仕方を理解する。					
【授業の方法】					
・講義					
【成績評価の方法と基準】					
・授業態度・授業出席率10% 課題提出10% レポート10% 期末試験70%					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					

予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んでください。 復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、調べたり、質問をしてください。
【使用教材・教具】
『言葉とこどもの文化』豊岡短期大学 『保育所保育指針解説』フレーベル館 『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館
【履修にあたっての留意点】
・授業中の飲食や私語、不必要なスマートフォン等の操作は認めません。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
特別支援教育	15時間	8コマ	1単位	2年生 (通年)	必修

【学修内容】
特別な教育的ニーズを持つ子供を支援するにあたって、子供自身の特性を理解するのはもちろん、子供を支援するために必要な社会的資源や関係機関についての知識、個別の教育支援計画の作成方法とその利用方法、教育課程と学びと生活の場のあり方についても理解を深めるよう、特別支援教育に関わる幅広い内容を示す。
【到達目標】
1. インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育に関する制度の理念や仕組みを説明することができる。 2. 視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱等を含む様々な障害のある幼児の生活上および認知機能における困難についての基礎的な知識を説明することができる。 3. 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する支援の方法について、個別の教育計画の役割を踏まえながら例示することができる。 4. 関係機関の位置づけやその必要性について説明することができる。
【授業の方法】
・講義
【成績評価の方法と基準】
・授業態度・出席率15% レポート15% 期末試験の成績70%
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
・予・復習：随時課題プリントを配布しますので期限内に提出してください。
【使用教材・教具】
『特別支援教育』豊岡短期大学 『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 『保育所保育指針解説』フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館
【履修にあたっての留意点】
・授業中の飲食、不必要なスマートフォンの操作は認めません。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
保育の計画と評価	30時間	15コマ	2単位	1学年 (通年)	必修

【学修内容】
1. 改定内容を理解し、指導計画を考え作成することができる。 2. 小学校との繋がりを知り、就学前の保育過程を考察することができる。
【到達目標】
1. 保育カリキュラムを理解し、各年齢児の指導計画を作成することができる。 2. 保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改定内容を理解し、全体的な計画の編成の方法ができる。
【授業の方法】
・講義
【成績評価の方法と基準】
・受講態度及び課題40%、筆記試験及びレポート等により60%以上を総合的に評価する。
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んでください。

復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、調べ学習、質問をしてください。
【使用教材・教具】
『新基本保育シリーズ 13 教育・保育カリキュラム論』中央法規出版 - 適宜プリント配布
【履修にあたっての留意点】
- 授業中の飲食や私語、不必要なスマートフォン等の操作は認めません。 - この科目は、他の科目との関連性があります。意識しながら授業に取り組んでください。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
保育内容の理解と方法	1 年次 15 時間 2 年次 45 時間	1 年次 8 コマ 2 年次 24 コマ	4 単位	1.2 学年 (通年)	必修
【学修内容】					
(声 楽) 保育のうたのレッスンを行う。 (ピアノ) 子どもの感性を培うための音楽活動のあり方を理解する。 (身体) 発達段階に応じた運動遊びを準備し、グループ毎での発表を通して、理解を深め、同時に子どもたちが自主的に楽しく且つ安全に展開する援助方法を学ぶ。 (表現とこどもの運動) 子どもの表現遊びや運動が年齢に応じて展開されていくことを理解し、表現遊び運動の実践例からイメージを膨らませ、安全に楽しく表現遊びが展開できる知識及び実践力を理論的に深める。					
【到達目標】					
(声 楽) 呼吸・発声についての基礎的な知識・技術を身につけるとともに、保育・教育現場で使用される歌唱教材を通して実践の場で応用できる力を養い、歌唱指導の自信へとつなげていくことを目標とする。 (ピアノ) 教師・保育者に求められる豊かな音楽表現を習得する。 (身体) こどもが主体的に取り組める援助方法を習得する。 (表現とこどもの運動) 表現活動は、日常におけるこどもを取り巻く生活環境が大きく関係し、豊かな感性に関連していることを理解するとともに、表現遊びや表現運動が5つの領域に相互に関わり成り立っていることを理解する。					
【授業の方法】					
・演習					
【成績評価の方法と基準】					
・実技試験60% 期末試験の成績40%					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・予習と復習をしてください。					
【使用教材・教具】					
『簡易伴奏によるこどもの歌ベストテン[改訂新版]』株式会社ドレミ楽譜出版社 『表現とこどもの運動』豊岡短期大学 『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 『保育所保育指針解説』フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館					
【履修にあたっての留意点】					
- 授業中の飲食や私語、不必要なスマートフォン等の操作は認めません。 - 身体表現の授業の際は動きやすい服装で受講してください。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
保育内容総論	15時間	8コマ	1単位	1 学年 (通年)	必修
【学修内容】					
保育所や幼稚園、認定こども園における「保育」の全体的構造について理解し、各領域の保育内容を学総合的にとらえる視点から、乳幼児期の発達過程、園での生活や遊び、保育計画、具体的な援助等について保育の流れを概観し、保育実践と結びつけながら学ぶことを目的とする。					
【到達目標】					
1. 保・幼・小の連携の必要性と具体的な取り組みについて理解し、自分の言葉で説明ができる。 2. 子どもの発達や生活を取り巻く社会的背景及び保育内容の歴史的変遷、生きる力の基礎を育む。 3. 保育内容、保育における自己評価の在り方について保育課程につなげ理解する。					
【授業の方法】					

・講義
【成績評価の方法と基準】
・筆記試験５０％、受講態度及び課題５０％を総合的に評価する。
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んでください。 復習：教科書やノート、授業での配布資料をもとに授業内容を整理、確認してきてください。わからないことを自分なりに調べたり、質問したりしてください。
【使用教材・教具】
・『保育内容総論』豊岡短期大学 ・『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 ・『保育所保育指針解説』フレーベル館 ・『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館
【履修にあたっての留意点】
・授業中の私語、スマートフォン等の操作は認めません。積極的に授業に取り組んでください。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
保育内容演習	７５時間	４０ コマ	５単位	１ 学年 (通年)	必修

【学修内容】
１．環境：自然事象について考え、「それらを子ども達がどのように捉え、その後の生活においてどのような関わりを持つか」について、教える側としての認識と知識を確認する。 ２．健康：こどもが日常生活における身の回りのことを自分でする習慣や、集団生活を通して友達や教育者・保育者など他者との関わり方、健康で安定した生活が送れるような態度や習慣を培う指導方法について学ぶ。 ３．人間関係：乳幼児期の人間関係がどのように育っていくかを学び、子どもの自立心や人とのかかわる力を養うために必要となる保育・教育の実践方法や援助方法についての理解を深めることを目標とする。 ４．言葉：乳幼児期の言葉の発達やその仕組み、こどもへの先達となる保育者の言葉の在り方、姿勢などについて学習を深めるとともに、言語教材を使用し、取り組みから、文字への興味、言葉の持つ楽しさなどを探究し、言葉を獲得するとはどういうことなのかを解説する。 ５．表現：こどもは発達とともに感性も広がりを見せ、様々なことに興味を持ち体験していく。無限の可能性を持つこどもたちにいかにして多くの可能性を引き出す手助けができるのか。これらを踏まえ、幼稚園、保育所、こども園での表現（造形表現）におけるこどもの発達段階も交えながら製作指導も行う。
【到達目標】
１．保育者における乳幼児の保育について、養護と教育が一体的に展開され、５領域それぞれの内容が関連性をもつことを理解し、保育士等が子どもの遊びを通して体験していることを捉え、配慮すべき事項を理解する。 ２．保育所保育指針や最新の知見を踏まえつつ、保育課程の実践について理解する。
【授業の方法】
・演習
【成績評価の方法と基準】
・筆記試験及び講義への参加態度、課題への取り組みの姿勢も含めて総合的に判断する。
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んでください。 復習：教科書や配布資料をもとに授業内容を整理し、わからないことを調べ学習、質問をしてください。
【使用教材・教具】
・『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 ・『保育所保育指針解説』フレーベル館 ・『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館
【履修にあたっての留意点】
・授業中の飲食や私語、不必要なスマートフォン等の操作は認めません。 ・この科目は、他の科目との関連性があります。意識しながら授業に取り組んでください。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
乳幼児保育Ⅰ	３０時間	１５コマ	２単位	１ 学年 (通年)	必修
【学修内容】					

乳幼児保育の歩み、乳幼児の発達上の特徴など、基本的な知識について学び、その意義や必要性を理解できるようにする。人としての基礎を培う大切な乳幼児期に関わる保育者の役割を理解する。
【到達目標】
1. 乳児保育の意義・目的と歴史的変遷及び役割等に理解する。
2. 保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。
3. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。
4. 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。
【授業の方法】
・演習
【成績評価の方法と基準】
・授業態度・出席率15% レポート15% 期末試験の成績70%
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
予・復習：随時課題プリントを配布しますので期限内に提出してください。
【使用教材・教具】
・『乳幼児保育』豊岡短期大学
・『幼稚園教育要領解説』フレーベル館
・『保育所保育指針解説』フレーベル館
・『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館
【履修にあたっての留意点】
・授業中の飲食、不必要なスマートフォンの操作は認めません。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
乳幼児保育Ⅱ	15時間	8コマ	1単位	2学年 (通年)	必修
【学修内容】					
乳幼児保育の歩みと現状、乳幼児の発達上の特徴など、基本的な知識について学び、その意義や必要性を理解できるようにする。人としての基礎を培う大切な乳幼児期に関わる保育者の役割を理解し適切な保育の計画や方法、保護者への支援の習得を目指す。					
【到達目標】					
乳幼児保育の果たす役割について具体的な援助方法や保護者支援を理解できる。					
【授業の方法】					
・演習					
【成績評価の方法と基準】					
・授業態度・出席率15% レポート15% 期末試験の成績70%					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・予・復習：随時課題プリントを配布しますので期限内に提出してください。					
【使用教材・教具】					
・『新基本保育シリーズ15 乳児保育Ⅰ・Ⅱ』中央法規					
・『幼稚園教育要領解説』フレーベル館					
・『保育所保育指針解説』フレーベル館					
・『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館					
【履修にあたっての留意点】					
・授業中の飲食、不必要なスマートフォンの操作は認めません。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
障害児保育	30時間	15コマ	2単位	1学年 (通年)	必修
【学修内容】					
子どもの障害についての歴史的な変遷を学び、現代における多様な障害に対応できる、知識と援助の方法、家庭との連携・協働について理解する。個別性や現状と課題を理解した上で支援計画を立て保育課程の展開を理解する。					
【到達目標】					
子どもの障害についての理念や歴史的変遷について学ぶ。多様な障害について理解し、援助の方法について学ぶ。子どもの心身に障害を生じさせる疾患を理解し、その特徴を理解して上での法育の方法を展開できる。また、取り巻く環境を理解し、多職種との連携について理解できる。子どもの障害についての歴史的な変遷を学び、現代における多様な障害に対応できる、知識と援助の方法を学ぶことにより、子どもの個性を					

尊重した保育のあり方を考えることができる。子どもの個別性理解したうえで、支援計画を立て、障害のある保育の課題とその工夫点を見出すことができる。
【授業の方法】
・ 演習
【成績評価の方法と基準】
・ 筆記試験及び講義への参加態度、課題への取り組みの姿勢も含めて総合的に判断する。
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
・ 予習、復習、レポート製作、他教科家庭支援論との併修をする。
【使用教材・教具】
・ 『新基本保育シリーズ 17 障害児保育』中央法規出版
【履修にあたっての留意点】
・ 復習と調べ学習をし、障害についての基礎知識を身につけましょう。健常児と障害児との保育の違いが理解できることを意識して取り組みましょう。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
社会的養護Ⅱ	15時間	8コマ	1単位	2学年 (通年)	必修
【学修内容】					
社会的養護に関する制度施策に関し理解し、療育支援していくための方法を理解し、子どもの権利擁護を図るための取り組みを考えることができる。					
【到達目標】					
社会的養護の対象の子どもを理解し、その困難を共に支えるための技術、知識、価値観を身に着ける。					
【授業の方法】					
・ 演習					
【成績評価の方法と基準】					
・ 筆記試験及びレポート等により60%以上の評価を得る事で単位を認定する。					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・ 予習復習を行ってください。					
【使用教材・教具】					
・ 適宜プリント配布 ・ 『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 ・ 『保育所保育指針解説書』フレーベル館 ・ 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館					
【履修にあたっての留意点】					
・ 授業中の飲食や私語、不必要なスマートフォン等の操作は認めません。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
子育て支援	15時間	8コマ	1単位	2学年 (通年)	必修
【学修内容】					
近年家庭における教育力の低下が指摘される中で、保育所には地域における子育て支援センターとしての役割が期待されている。保育士は、在園児家庭への支援のみならず、地域の在宅保育家庭への支援にも目を向ける必要がある。この講義では、家庭における子育ての実情を知り、保護者の立場を理解しつつ、保護者が主体的に子育てに取り組めるような支援のあり方を検討する。また、子育て支援の課題や問題、方法論についても学ぶ。					
【到達目標】					
1. 保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援（保育相談支援）について、その特性と展開を具体的に理解する 2. 保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解する。					
【授業の方法】					
・ 演習					
【成績評価の方法と基準】					
・ 受講態度30% 期末試験の成績70%					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・ 予・復習：随時課題プリントを配布しますので期限内に提出してください。					

【使用教材・教具】
・適宜プリントを配布
【履修にあたっての留意点】
・授業中の飲食や私語、不必要なスマートフォン等の操作は認めません。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
こどもの健康と安全	15時間	8コマ	1単位	2学年 (通年)	必修

【学修内容】
保育現場における危機管理や災害時での対応、個別的配慮を有するこどもへのかかわり方、各専門機関や関係機関との連携を学び、意義を理解できるようにする。保育者は、大切な命を預かり保育を行っていることを理解し、こどもの健康と安全の保持を目指す学びを進めていく。
【到達目標】
保育現場や災害時での危機管理を知り、対応や処置方法を理解してできるようにする。 障害のあるこどもや個別的配慮を有するこどもへの対応を知り、かかわることができる。 家庭、専門機関、地域の関係機関等との組織的な連携を知る。
【授業の方法】
・演習
【成績評価の方法と基準】
・期末試験 80% 演習・レポート 20%
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
・予・復習：随時課題プリントを配布しますので期限内に提出してください。
【使用教材・教具】
・『新基本保育シリーズ 16 こどもの健康と安全』中央法規 ・『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 ・『保育所保育指針解説』フレーベル館 ・『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館 ・適宜資料配布
【履修にあたっての留意点】
・授業中の飲食、不必要なスマートフォンの操作は認めません。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
コミュニケーション論	45時間	23コマ	3単位	2学年 (通年)	必修

【学修内容】
日本の伝統である華道・茶道を学ぶ。 保育現場、社会人として必要なマナーを学ぶ。
【到達目標】
華道・茶道の基本を身に着ける。 保育現場、社会人として必要なマナーを身に着ける。
【授業の方法】
・演習
【成績評価の方法と基準】
・授業態度、期末テスト、課題の取り組みを総合的に判断する。
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
・予・復習：随時課題プリントを配布しますので期限内に提出してください。
【使用教材・教具】
・『よくわかる社会人の基礎知識』（株式会社ぎょうせい） ・適宜資料配布
【履修にあたっての留意点】
・授業中の飲食、不必要なスマートフォンの操作は認めません。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
こどもプロジェクト	1年次30時間 2年次30時間	1年次15コマ 2年次15コマ	4単位	1.2学年 (通年)	必修

【学修内容】
分野ごと基本的な道具の扱いを学ぶ。

保育現場で必要となる製作・遊戯・劇遊び等の基本的な技術を習得する。 オムツ交換・哺乳瓶の扱いを理解する。 保育現場で必要な技術を学ぶ。 互いに意見を出し合い製作や遊びを展開していく。
【到達目標】
保育実習Ⅰ・Ⅱで実践できるような基本的な技術を身に着ける。 製作・遊戯・劇遊び等の基本的技術を習得し、実践できるようになる。 自分なりの工夫やアイデアを入れた保育展開ができるような技術を身に着ける。
【授業の方法】
・演習
【成績評価の方法と基準】
授業態度・出席率15% 作品15% 実技テスト70%
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
復習：プリントにて課題を出し、次の授業前に提出してください。
【使用教材・教具】
裁縫道具・フェルト・刺繍糸・カラー軍手 ハサミ・カッター・のり・画用紙・乳児人形・オムツ・おしりふき・沐浴槽 乳児用衣服・哺乳瓶
【履修にあたっての留意点】
授業中の飲食・不必要なスマートフォンの操作は認めません。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
保育方法の探求	30時間	15コマ	2単位	2学年 (通年)	必修
【学修内容】					
保育課程の展開を踏まえ、保育実習においての学びを指導計画に基づき改めて考察する事が出来、保育実習の振り返りから課題を見つめ、保育学を探究する事ができる。					
【到達目標】					
1. 保育課程の展開が出来、実践力を養うために事例を交えながら展開してゆくことができる。 2. 保育実習での振り返りから、発展的に保育課程を考え、まとめ発表する事ができる。					
【授業の方法】					
・演習					
【成績評価の方法と基準】					
・課題の提出内容30% 期末試験の成績70%					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・予・復習：随時課題プリントを配布しますので期限内に提出してください。					
【使用教材・教具】					
・適宜プリントを配布					
【履修にあたっての留意点】					
・授業中の飲食、不必要なスマートフォンの操作は認めません。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
レクリエーション	30時間	15コマ	2単位	2学年 (通年)	必修
【学修内容】					
子ども達の心の健康、身体の健康、精神の健康に目を向けながら楽しい活動を計画し、実施できるようにする。					
【到達目標】					
レクリエーションの知識と技術について理解できる。 レクリエーション活動計画を作成し、実施できる。					
【授業の方法】					
・演習					
【成績評価の方法と基準】					
・授業態度40%・実技試験60%を総合的に評価する。					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んでください。					

復習：配布資料をもとに授業内容を整理し、調べ学習、質問をしてください。
【使用教材・教具】
・適宜資料配布
【履修にあたっての留意点】
・授業中の飲食や私語、不必要なスマートフォン等の操作は認めません。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
地域ボランティア	15時間	8コマ	1単位	2学年 (通年)	必修
【学修内容】					
学びの場は、目の前ばかりでなく、地域社会に広がっている。地域のボランティア活動を通して、得る学びはかけがえのないものである。 「ボランティアとは」「ボランティア活動は何か」といった本質的な部分から授業を進め、“人と人のつながり、かかわること”とは、何であるかについて改めて考えながら、今後の社会生活、職業生活における人間関係力などについて学びを深めていく。また、地域コミュニティの一員として、自分の生活する社会においておこる問題や課題に気付くことで、今後の地域社会とのつながり、かかわりについて考え。事後指導において多様なボランティア活動の事例や受講生のボランティア体験を共有し、その中にある思考、価値、態度などに触れながら自己省察する。					
【到達目標】					
1. ボランティアの本質、活動の意義を理解したうえで、社会、地域への貢献について考えをもち、説明することができる。 2. ボランティア活動の経験から、わき起こった思考、感情に目を向けながら、自分自身の変化について言葉にすることができる。 3. 多様なボランティア活動の事例について知り、人や地域社会のつながり、かかわりについて、自分自身の考えを述べることができる。 4. 受講生とボランティア体験を共有する学び合いから自己省察し、人間的な成長の契機とすることができる。					
【授業の方法】					
・演習					
【成績評価の方法と基準】					
・レポート80%、受講態度20%により評価					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・予習復習をしましょう。					
【使用教材・教具】					
・適宜資料配布					
【履修にあたっての留意点】					
・授業中の私語、スマートフォン等の操作は認めません。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
課題研究	1年次30時間 2年次30時間	1年次15コマ 2年次15コマ	4単位	1.2学年 (通年)	必修
【学修内容】					
保育に関する課題に対して、自ら進んで取り組み自分の意見を明確にすることができる。					
【到達目標】					
保育に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を行い、より専門的な知識と技術の深化総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。					
【授業の方法】					
・演習					
【成績評価の方法と基準】					
・レポート100%					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・提出期限までにレポート提出ができるよう集中して取り組みましょう。					
【使用教材・教具】					
・適宜資料配布					
【履修にあたっての留意点】					
・作成したレポートは自分で確認をしてから教員に提出するようにしてください。					

- ・教員から添削されたレポートは必ず読み直しを行い、より良いレポート作成につなげてください。
- ・授業中の私語、スマートフォン等の操作は認めません。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
音楽表現論	30時間	15コマ	2単位	1学年 (通年)	必修
【学修内容】					
1. 保育現場における音楽の役割を統括的に学び、音楽活動の指導に必要な基礎的知識を身につける。					
2. こどもの音楽表現活動を援助するために必要な音楽の基礎知識を身につける。					
【到達目標】					
こどもの音楽表現を豊かにし、こどもの成長過程に応じた発達を援助できるようにする。					
【授業の方法】					
・講義					
【成績評価の方法と基準】					
・筆記試験100%					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
復習：ノートや配布資料をもとに授業内容を整理し、わからなかったことは調べたり質問したりしてください。					
【使用教材・教具】					
・『音楽表現論』豊岡短期大学					
【履修にあたっての留意点】					
・授業中の私語、スマートフォン等の操作は認めません。積極的に授業に取り組んでください。					
・わからないことがあったらそのままにせず必ず授業内に解決するようにしてください。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
音楽実技	1年次45時間 2年次30時間	1年次23コマ 2年次15回	5単位	1.2学年 (通年)	必修
【学修内容】					
こどもの音楽表現を豊かにし、こどもの成長過程に応じた発達を援助する。幼児の調和のとれた心身の発達を促すものは、教師・保育者の意図的・計画的な指導によることを理解する。こどもの感性を培うための音楽活動のあり方を理解する。教師・保育者に求められる豊かな音楽表現を習得する。					
幼児教育における表現活動の意味・目的について学び、こどもたちの持つ生きる力や可能性をできる限り引き出すための音楽活動について考察する。そして、こどもの感性を培う音楽活動の指導法習得を目標に、鍵盤楽器を通してこどもと遊ぶ方法を学ぶ。発表会形式の成果発表を経験することにより、教師・保育者に求められる豊かな音楽表現の習得を図るとともに、弾き歌い等への応用方法について研究をすすめる。					
【到達目標】					
こどもの音楽表現活動を援助するために必要な基礎知識を身につける。					
保育や幼児教育の場で活用できるピアノ演奏や弾き歌いができる。					
コード伴奏の弾き歌いができる。					
【授業の方法】					
・実技					
【成績評価の方法と基準】					
・実技試験80%、授業態度20%以上の評価を得る事で単位を認定する。					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
予習：授業で取り上げる曲を事前に練習してきてください。					
復習：授業の整理をし、ピアノの練習をしてください。					
【使用教材・教具】					
・『簡易伴奏によるこどもの歌ベストテン[改訂新版]』株式会社ドレミ楽譜出版社					
【履修にあたっての留意点】					
・授業中の私語、スマートフォン等の操作は認めません。積極的に授業に取り組んでください。					
・わからないことがあったらそのままにせず必ず授業内に解決するようにしてください。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
こどもと体育	30時間	15コマ	2単位	2学年 (通年)	必修
【学修内容】					

こどもの運動遊びの特徴や必要性を発育発達的面から理解しながら、図表や実践例から運動遊びのイメージを膨らませ、安全に楽しく遊びが展開できる知識を理論的に深め、運動遊びを考え、発表する。固定遊具、鬼ごっこ等について研究を深め、こども達が安全に楽しく運動遊びを展開するための指導法と援助の仕方、安全性について学ぶ。
【到達目標】 1. 運動遊びにおける援助者の役割について理解し、人的環境について説明するとともに、集団遊びと発育発達について事例をあげて自分の考えをもつことができる。 2. こどもを取り巻く生活環境の変化は、様々な面から発育発達に大きく影響を及ぼしていることから戸外での運動遊びや心身の健康など、援助者として発達状況に応じた援助の在り方を理解し各種の問題に取り組むことができるようになる。 3. こどもの発育発達に即した運動能力を理解し、年齢に合った運動遊び（野外でのグループ・集団遊び、固定遊具（鉄棒）遊び、大型遊具を使った遊び、鬼ごっこ遊び等）が考えられ援助でき、運動遊びの指導法や安全についての知識を習得する。
【授業の方法】 ・演習
【成績評価の方法と基準】 ・授業態度・授業出席率10% 課題提出20% 実技70%を総合的に評価する。
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】 ・予習復習をしてください。わからないことは自分で調べたり質問したりしてください。
【使用教材・教具】 ・適宜資料配布 ・『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 ・『保育所保育指針解説』フレーベル館 ・『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館
【履修にあたっての留意点】 ・授業中の私語、スマートフォン等の操作は認めません。 ・怪我のないよう十分注意して取り組みましょう。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
こどもと造形	15時間	8コマ	1単位	1年生 (通年)	必修
【学修内容】 幼児造形の指導・援助者として形や色等の造形の基本的な理論を学習しながら、実際にそれらについてテーマをもとにした色彩分割及び構成学習を行う。また具体的な描写によって観察力を養い、合わせて用具や描画材の特性を利用してさまざまな表現技法から想像力を高め、体験的に理解する。さらに、さまざまな素材をもとに、それらの特性を活かして創意工夫をしながら製作を展開し、平面及び立体における造形教育に必要なとなる知識や技術を身につける。					
【到達目標】 乳幼児造形教育の指導・援助者として必要となる形や色や質感等の基礎的な知識及び技能について①えがく領域②つくる領域③造形あそびの領域を通して体験的に習得する。また、教材研究及び発表を行うことで思考力や表現力を高める。					
【授業の方法】 ・演習					
【成績評価の方法と基準】 ・各講義での作品・受講態度50% 期末試験の成績50%					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】 ・予・復習：随時課題プリントを配布しますので期限内に提出してください。					
【使用教材・教具】 ・フレーベル館「幼稚園教育要領解説」 ・フレーベル館「保育所保育指針解説書」 ・フレーベル館「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」 ・画用紙・絵具・色鉛筆・水性ペン・粘土					
【履修にあたっての留意点】 ・授業中の飲食、不必要なスマートフォンの操作は認めません。 ・汚れてもいい服装で参加してください。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
教育方法論	30 時間	15 コマ	2 単位	1 年生 (通年)	選択
【学修内容】					
教育方法とは何か。その定義と意義、守備範囲についての知識を習得したのちに、教育方法の歴史的変遷を概観することを通して、先人がどのような思想のもとに教育方法を展開してきたのかを考察する。さらに、教育に活用できる情報機器、教材・教具についての理解を深めたのちに学習指導の理論と授業の方法、および評価について理解する。後半では、幼児教育（保育）の方法、並びに小学校教育との連続について考察する。最後に教育方法の課題と今後の展望について検討する。					
【到達目標】					
教育方法の定義、意義、守備範囲の概念について基本的知識を習得し、教育目標、教育内容、評価との関係性についての理解を深めるとともに、教育（保育）現場における様々な課題を解決する教育（保育）方法とその活用についての理解を深め、保育者として必要な資質を培う。					
【授業の方法】					
・ 講義					
【成績評価の方法と基準】					
・ 筆記試験及びレポート等により 60%以上の評価を得る事で単位を認定する。					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・ 予習、復習を行ってください。					
【使用教材・教具】					
・ 『教育方法論』 豊岡短期大学 ・ 『幼稚園教育要領解説』 フレーベル館 ・ 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 フレーベル館					
【履修にあたっての留意点】					
・ 授業中の飲食、不必要なスマートフォンの操作は認めません。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
教育課程論	30 時間	15 コマ	2 単位	1 年生 (通年)	選択
【学修内容】					
幼児、こどもを育てる上で、大切なこと（目標）、どのような方法・手立て（方針）、どのような内容で、どの時期に、どんな環境で、等々を学ぶ。幼児教育・保育における教育課程・保育課程の意義と役割を明らかにする。					
【到達目標】					
1 保育の内容の充実と質の向上に資する教育課程・保育課程について理解する。2 教育課程・保育課程の編成と指導計画の作成について、意義や方法を具体的に習得する。3 編成・実践・点検・評価・改善の課程についてその全体像を能動的にとらえ、カリキュラム・マネジメントの意義を理解する。4 保護者や関係機関との連携について学ぶ。					
【授業の方法】					
・ 講義					
【成績評価の方法と基準】					
・ 筆記試験及びレポート等により 60%以上の評価を得る事で単位を認定する。					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・ 予習、復習を行ってください。					
【使用教材・教具】					
・ 『教育課程論』 豊岡短期大学 ・ 『幼稚園教育要領解説』 フレーベル館 ・ 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 フレーベル館					
【履修にあたっての留意点】					
・ 授業中の飲食、不必要なスマートフォンの操作は認めません。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
造形表現論	15 時間	8 コマ	1 単位	1 年生 (通年)	選択
【学修内容】					

幼児造形の指導・援助者として形や色等の造形の理論をもとに、えがく表現、つくる表現そして造形あそびの領域と技法について、また、それに伴った材料、用具の特性と利用について理解していく。さらに美術の歴史的展開の概説及び乳幼児造形教育の課題を学ぶ。
【到達目標】
保育の内容を踏まえ、幼児造形の指導・援助者として、造形の基本的な知識、形や色、材料、用具、表現技法等の造形の理論をもとに手の動き・感性・造形的思考が一体となった造形活動を理解する。
【授業の方法】
・講義
【成績評価の方法と基準】
・筆記試験及びレポート等により 60%以上の評価を得る事で単位を認定する。
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
・予習、復習を行ってください。
【使用教材・教具】
・『造形表現論』豊岡短期大学 ・『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 ・『保育所保育指針解説』フレーベル館 ・『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館
【履修にあたっての留意点】
・授業中の飲食、不必要なスマートフォンの操作は認めません。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
こどもの指導法	1 年次 75 時間 2 年次 75 時間	1 年次 15 コマ 2 年次 15 コマ	10 単位	1.2 学年 (通年)	選択
【学修内容】 人間関係：領域「人間関係」のねらいや内容の理解を深めるとともに、様々な関係について考察する。 言葉：乳幼児期の言葉の発達やしぐみ、保育者の言葉のあり方、姿勢などについて学習を深めるとともに、文字への興味、言葉の持つ楽しさや美しさ、言語教材についても相互の意見交換や実践的な取り組みを行い、乳幼児期に言葉を獲得することの意義を探究する。 リズム表現：こどもにとっての表現について、その意義、効果的な指導法、使用教材の知識などについての理論と実践方法を自らの音楽表現や身体表現、言語表現、造形表現から学習する。 造形表現：乳幼児の表現活動の大切さと発達過程や造形的な表現の特徴を理解する。さらに教材・用具、手法をもとに「えがく」「つくる」「造形あそび」などの題材や環境構成、援助のあり方についての知識と製作体験とを関連づけながら学習を深める。 音楽表現：感性と表現に関する領域「表現」のねらい及び内容等を理解するとともに、音楽を通した様々な表現活動のあり方や実践の方法を具体的に理解する。 健康：乳幼児期の健康に関する幅広い知識と個々の発達発達の状態に合った配慮の仕方、子どもが健康でたくましく育つための具体的な方法について、現代社会の子どもを取り巻く生活環境にも目を向けながら積極的な健康づくり指導を目指す。 環境：環境とは何かを理解し、そこにどう関わるかを中心に保育現場における具体的事例を挙げて学習する。 言語表現：幼稚園教育要領・保育所保育指針における「表現」と、幼児の心の表現を学び、言語表現に利用できる児童文化財の作成を試みる。作成した児童文化財を用いての表現演習を通して、言語表現活動の指導法について、問題点を出し合い、解決する力を身につける。					
【到達目標】 人間関係：子ども達が人的環境にかかわり、主体的に活動をすることや、互いに支え合って生活をしていくことに喜びや充実感を感じるために、保育者の適切な援助方法や「人間関係」についての基礎の習得を目的とする。 言葉：乳幼児期の言葉の発達過程を理解するとともに、言葉遊び等の活動を通して言葉に対する感覚、言葉のもつ美しさ、楽しさを認識し、理解することを目的とする。 リズム表現：保育内容を理解し、表現遊びを展開するために必要な知識や技術を表現領域から見出し、保育指導法を修得していくことを目的とする。 造形表現：保育の内容を理解し、乳幼児を含めた子どもの造形の指導援助者として、子どもの発達と保育の中で取り扱う教材に必要な知識、さらに教材・用具の操作体験など実践学習を通して、体験的・技術的に学習する。 音楽表現：感性と表現に関する領域「表現」の「音楽表現」に視点を置き、ねらい及び内容等について理解を深め、領域「表現」の全体目標への到達を目指し、より具体的、実践的、対話的な保育実践の方法を修得する。					

健康：子どもの個々の健康状態を評価する能力を多領域から養うことを目的とする。
環境：保育内容「環境」のねらい及び内容について理解を深めるとともに、乳幼児の発達に即して、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。
言語表現：乳幼児期における各発達段階の子どもに相応しい言語表現活動の展開と指導法を学習し、乳幼児期の子どもの言語表現活動を指導することができるような基本的知識と技法を身につけることを目標とする。
【授業の方法】
・ 演習
【成績評価の方法と基準】
・ 単位認定試験により 60%以上の評価を得る事で単位を認定する。
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
・ 予習、復習を行ってください。
【使用教材・教具】
・ 適宜資料配布
・ 『幼稚園教育要領解説』フレーベル館
・ 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館
【履修にあたっての留意点】
・ 授業中の飲食や私語、不必要なスマートフォン等の操作は認めません。
・ この科目は、他の科目との関連性があります。意識しながら授業に取り組んでください。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
人間関係論	15 時間	8 コマ	1 単位	1 年生 (通年)	選択
【学修内容】					
領域「人間関係」の考え方について理解を深め、人間関係の成立と展開に関する発達心理学的基盤について理解する。保育実践において、人間関係を育む際の保育者の役割について理解し、こどもの発達に応じた保育のあり方を考える。					
【到達目標】					
現代のこどもの人間関係の育ちに影響を与えている社会的要因について理解し、幼児（保育）教育で保証すべき教育内容に関する知識を身につける。こどもを取り巻く他者との関係、集団との関係から、こどもの人間関係を考察し、乳幼児が人との関わりを通じて育つことを理解する。					
【授業の方法】					
・ 講義					
【成績評価の方法と基準】					
・ 筆記試験及びレポート等により 60%以上の評価を得る事で単位を認定する。					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・ 予習、復習を行ってください。					
【使用教材・教具】					
・ 『人間関係論』豊岡短期大学					
・ 『幼稚園教育要領解説』フレーベル館					
・ 『保育所保育指針解説』フレーベル館					
・ 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館					
【履修にあたっての留意点】					
・ 授業中の飲食、不必要なスマートフォンの操作は認めません。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
健康論	15 時間	8 コマ	1 単位	2 年生 (通年)	選択
【学修内容】					
乳幼児期の運動発達における大人との相違について映像資料や事例を活用し、乳幼児期において多様な動きを獲得していくことの意義と重要性を理解する。また、乳幼児期の子どもたちの健康に対する知識と発達発達について学ぶ。					
【到達目標】					
領域「健康」の指導に関する乳幼児の心身の発達、基本的な生活習慣、安全な生活、運動発達などの専門的事項についての理論的学習を身につける。					
【授業の方法】					

・講義
【成績評価の方法と基準】
・筆記試験及びレポート等により 60%以上の評価を得る事で単位を認定する。
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
・予習、復習を行ってください。
【使用教材・教具】
・『健康論』豊岡短期大学 ・『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 ・『保育所保育指針解説』フレーベル館 ・『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館
【履修にあたっての留意点】
・授業中の飲食、不必要なスマートフォンの操作は認めません。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
環境論	15 時間	8 コマ	1 単位	2 年生 (通年)	選択
【学修内容】					
こどもを取り巻く環境は様々であり、その中でこどもは生活をしている。具体的な環境例を示しながら、それらとこどもの発達の関係性を考える。また、環境を通して行う保育の意味をしっかりと学習し、保育者自身が保育環境をデザインする力を身につける必要があるため、様々な環境との出会いに気づき、それについて深く学ぶ。					
【到達目標】					
1 乳幼児期のこどもの発達と環境の関係性を考える。2 環境を通して行う保育の意味を知る。3 保育環境のデザインを実践できる。4 様々な環境との出会いを理解する。					
【授業の方法】					
・講義					
【成績評価の方法と基準】					
・筆記試験及びレポート等により 60%以上の評価を得る事で単位を認定する。					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・予習、復習を行ってください。					
【使用教材・教具】					
・『環境論』豊岡短期大学 ・『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 ・『保育所保育指針解説』フレーベル館 ・『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館					
【履修にあたっての留意点】					
・授業中の飲食、不必要なスマートフォンの操作は認めません。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
こどもの理解と相談支援	30 時間	15 コマ	2 単位	2 年生 (通年)	選択
【学修内容】					
相談支援の究極的な目的は、こどもの人間形成、人格形成にある。幼児、児童、生徒を対象にした現場における相談支援に重点を置き、発達と成長の基礎理論、生活指導、しつけ、学習適応等について学ぶ。また、カウンセリングの基本的態や技法について学び、様々な心理アセスメントの内容・活用について理解を深める。					
【到達目標】					
こどもを理解するために、乳幼児の発達及び学び並びにその過程で生じるつまずき、その要因を把握するための原理について学びます。また、その対応の一つの幼児教育（保育）現場における相談支援を学び、こどもが自己理解を深め、好ましい人間関係を築き、集団の中で適応的に生活する力を育むことを支援できることを目指します。そのために、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動のあり方について、こどもの発達の状況に即した支援ができるよう、心理的特質や教育的課題を捉える力を身につけるとともに、本人またはその親や保育者などに助言、指導、そして場合によってはカウンセリングを行えるようになることを目指します。より良い教育の方向を求めて指導助言ができる基礎理論と実際について学びます。					
【授業の方法】					
・講義					

【成績評価の方法と基準】
・筆記試験及びレポート等により 60%以上の評価を得る事で単位を認定する。
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
・予習、復習を行ってください。
【使用教材・教具】
・『こどもの理解と相談支援』豊岡短期大学 ・『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 ・『保育所保育指針解説』フレーベル館 ・『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館
【履修にあたっての留意点】
・授業中の飲食、不必要なスマートフォンの操作は認めません。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
保育実践演習	30時間	15コマ	2単位	2 学年 (通年)	必修
【学修内容】					
実習施設において、施設の一日の流れを理解し、子どもの観察とそれに対応できる力を養う。 保育所における、行事の運営方法を取得する。保育施設での子どもの活動について理解し、保育の流れをつくりだすことができる。					
【到達目標】					
保育所における一日の流れが理解でき、日々の保育の流れをつくりだすことができる。また、季節行事など行事の運営を計画できる。					
【授業の方法】					
・演習					
【成績評価の方法と基準】					
・課題提出率・内容30% 期末試験の成績70%					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・予・復習：随時課題プリントを配布しますので期限内に提出してください。					
【使用教材・教具】					
・適宜プリント配布					
【履修にあたっての留意点】					
・授業中の飲食、不必要なスマートフォンの操作は認めません。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
保育実習Ⅰ	150時間	20日間	10 単位	1 学年 (通年)	必修
【学修内容】					
1. 保育所の役割と機能を具体的に理解する 2. 保育士の業務内容や職業倫理について学ぶ 3. 子どもとのかかわり、保育・保護者への支援について総合的に学ぶ					
【到達目標】					
保育所の生活の流れを知り、一日の生活・活動をとおして、子どもへの理解と保護者への支援について理解できる。適切な記録の展開が出来る。					
【授業の方法】					
・実習					
【成績評価の方法と基準】					
・施設評価、職員評価により五段階評価中3以上の評価をとる					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・各教員の巡回指導を受け、実習に活かしていきましょう。					
【使用教材・教具】					
・『保育実習』（中央法規出版） ・『保育所保育指針解説』フレーベル館 ・『幼保連携型認定子ども園教育・保育要領解説』フレーベル館 ・実習要綱					
【履修にあたっての留意点】					

- ・提出物等は遅れないように提出すること。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
保育実習Ⅱ	60時間	10日間	4単位	1学年 (通年)	必修
【学修内容】					
福祉施設の役割や機能の理解を深める。 社会的養護に対する理解をもとに、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を養う。					
【到達目標】					
福祉施設を利用する人の理解を深め、生活に伴うニーズの抽出とそれに対応する計画の立案・実践が出来る。また、そこから保育士としての専門性を見出し、専門職としての課題を見出す事ができる。					
【授業の方法】					
・実習					
【成績評価の方法と基準】					
・施設評価及び教員評価をもとに五段階評価中3以上の評価とする。					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・教員の巡回を利					
用し、実習中でのつまづきを解消したり、気づきや学びを深めたりしていきましょう。					
【使用教材・教具】					
・『0～6歳児の発達と保育』（成美堂出版）					
・実習要綱					
【履修にあたっての留意点】					
・提出物等は遅れないように提出すること。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
保育実習Ⅲ	60時間	10日間	4単位	2学年 (通年)	必修
【学修内容】					
1. 子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して保育の理解を深める。 2. 子どもの保育及び保護者支援について総合的に学ぶ。 3. 保育の計画、実践、観察、記録及び自己評価について実際に取り組み、理解を深める。					
【到達目標】					
1. 子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して保育の理解を深めながら、職業倫理について具体的な実践に結び付けて理解する。保育士としての自己の課題を明確化する。 2. 子どもの保育及び保護者への支援を学ぶと共に、保育の計画・観察、実践記録、評価について具体的に実践する事で理解し、実践する事ができる。					
【授業の方法】					
・実習					
【成績評価の方法と基準】					
・施設評価、職員評価により五段階評価中3以上の評価をとる。					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・各教員の巡回指導を受け、実習に活かしていきましょう。					
【使用教材・教具】					
・『保育所保育指針解説』フレーベル館 ・『幼保連携型認定子ども園教育・保育要領解説』フレーベル館 ・実習要綱					
【履修にあたっての留意点】					
・提出物等は遅れないように提出すること。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
教育実習	120時間	20日間	8単位	2学年 (通年)	必修
【学修内容】					
1. 観察実習・参加実習・部分実習・全日実習等を行い、保育指導案の作成を行う。 2. 保育時間外の業務内容等を学ぶ。					

3. 上記の内容の実習記録をとりながら学び、考察し、実践的な指導力の向上を図る。
【到達目標】
幼稚園の役割と保育者の役割について理解を深め、学級運営力、保育指導力、保育者としての資質を身に付ける。
【授業の方法】
・実習
【成績評価の方法と基準】
・施設評価及び教員評価をもとに五段階評価中3以上の評価とする。
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
・教員の巡回を利用し、実習中でのつまずきを解消したり、気づきや学びを深めたりしていきましょう。
【使用教材・教具】
『保育所保育指針解説』フレーベル館 『幼稚園教育要領』フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館 - 本校実習要綱
【履修にあたっての留意点】
・提出物等は遅れないように提出すること。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
保育実習指導Ⅰ	30時間	15コマ	2単位	1学年 (通年)	必修
【学修内容】					
保育課程の理解が出来、演習を通して保育実習記録を記入できる力を養う。 根拠のある記録を書ける知識を養い、具体的な記載方法の具体的指導をする。					
【到達目標】					
保育実習の目的・意義を理解し、保育実習課程の理解のもと記録できる力を修得する。					
【授業の方法】					
・演習					
【成績評価の方法と基準】					
・受講態度及び課題40%、実技試験等により60%以上を総合的に評価する。					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んでください。 復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、調べ学習、質問をしてください。					
【使用教材・教具】					
- 本校実習要綱 - 適宜、プリントの配布 『保育・教育実習完全サポートブック』中央法規出版					
【履修にあたっての留意点】					
・授業中の私語、スマートフォン等の操作は認めません。積極的に授業に取り組んでください。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
保育実習指導Ⅱ	30時間	15コマ	2単位	1学年 (通年)	必修
【学修内容】					
保育実習を効果的に実施できるよう、理論と実習が結び付けることが出来、個別性に応じた保育課程を展開でき、保育実習での課題を見出しその対策が取れる。					
【到達目標】					
1. 個別性に応じた保育の展開ができる。 2. 施設行事の運営等にかかわる事で、保育所運営に携わる事により、保育所のあり方を考えることができる。					
【授業の方法】					
・演習					
【成績評価の方法と基準】					
・受講態度及び課題40%、実技試験等60% 総合的に評価する。					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					

予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んでください。 復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、調べ学習、質問をしてください。
【使用教材・教具】
・本校実習要綱 ・適宜、プリントの配布
【履修にあたっての留意点】
・授業中の飲食や私語、不必要なスマートフォン等の操作は認めません。 ・この科目は、他の科目との関連性があります。意識しながら授業に取り組んでください。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
保育実習指導Ⅲ	30時間	15コマ	2単位	2学年 (通年)	必修
【学修内容】					
1. 保育実習の意義・目的・実習生としての心構えを学び、今までの実習を活かし、自己課題の設定や学びを深めていく。 2. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。					
【到達目標】					
これまでの実習で学んだことを土台とし、グループワークや実践を通して保育者としての知識、技術の獲得を目標とし、部分実習や全日実習に必要な指導計画や教材研究を行い、実習における自己課題を明確にすること。					
【授業の方法】					
・演習					
【成績評価の方法と基準】					
・課題の提出内容30% 実習後の振り返りレポート70%					
【授業時間に必要な学修の具体的内容】					
・予・復習：随時課題プリントを配布しますので期限内に提出してください。					
【使用教材・教具】					
・『保育実習』中央法規出版 ・本校実習要綱 ・適宜プリント配布					
【履修にあたっての留意点】					
・授業中の飲食、不必要なスマートフォンの操作は認めません。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
教育実習指導	15時間	8コマ	1単位	2学年 (通年)	必修
【学修内容】					
1. 教育実習の意義・目的・実習生としての心構えを学び、今までの実習を活かし、幼稚園ならではの自己課題の設定や学びを深めていく。 2. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。					
【到達目標】					
これまでの実習で学んだことを土台とし、グループワークや実践を通して保育者としての知識、技術の獲得を目標とし、部分実習や全日実習に必要な指導計画や教材研究を行い、実習における自己課題を明確にすること。保育園・幼稚園の違いを理解する。					
【授業の方法】					
・演習					
【成績評価の方法と基準】					
・課題の提出内容30% 実習後の振り返りレポート70%					
【授業時間に必要な学修の具体的内容】					
・予・復習：随時課題プリントを配布しますので期限内に提出してください。					
【使用教材・教具】					
・本校実習要綱 ・適宜プリント配布					
【履修にあたっての留意点】					
・授業中の飲食、不必要なスマートフォンの操作は認めません。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
教育実習事前・事後指導	15時間	8コマ	1単位	2学年 (通年)	必修
【学修内容】					
教育実習の意義と目的、実習生としての心構えを学ぶ。また、幼児の発達の特長や発達過程を踏まえ、幼児理解や観察の視点・方法、指導案作成等の習得に努めるとともに、目標を持って実習に望む態度を育成する。					
また実習後、総括と自己評価を行い、課題や目標を明確にする。					
【到達目標】					
1. 幼稚園実習に備えて、実習についての知識、技能、態度（心構え）を習得する。					
2. 保育指導案の作成、実習記録の記入の方法を学ぶ。					
3. 実習終了後、自分の実践を振り返り、反省点や課題を明確にして保育の実践について理解を深める。					
4. 園内業務を理解し、保育環境の重要なことを知り、実務実習を進んで行う。					
【授業の方法】					
・演習					
【成績評価の方法と基準】					
・レポート100%					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・予・復習：随時課題プリントを配布しますので期限内に提出してください。					
【使用教材・教具】					
・豊岡短期大学「教育実習事前・事後指導」					
・教育実習日誌					
・フレーベル館「幼稚園教育要領解説」					
【履修にあたっての留意点】					
・授業中の飲食、不必要なスマートフォンの操作は認めません。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
保育・教職実践演習	30時間	15コマ	2単位	2学年 (通年)	必修
【学修内容】					
人間関係を結ぶ力や他人に説明できる表現力、物事の解決策を見出せる問題解決力、他者と心と心を通わせられる共感力などの能力を培い、「組織人としての教師」の在り方についても学ぶ。さらに幼稚園と小学校、小学校と中学校、中学校と高等学校のつながりを十分意識し、教育現場で直面する問題等の対応についても学修する。					
【到達目標】					
① 学校教育についての理解 ② 幼児児童生徒理解 ③ 教師としての使命感や責任感、教育的愛情について ④ 社会性や対人関係能力の重要性 ⑤教育実践の個々のレベルアップ（教材の開発、表現技術、授業・保育の構想・展開力、学級経営力など）を図る。					
【授業の方法】					
・演習					
【成績評価の方法と基準】					
・受講態度及び出席状況40%、課題等60%					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んでください。 復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、分からない所を調べたり、質問をしたりしてください。					
【使用教材・教具】					
・適宜資料配布					
【履修にあたっての留意点】					
・授業中の飲食や私語、不必要なスマートフォン等の操作は認めません。					